

川西市高齢者保健福祉計画・第9期介護保険事業計画策定に向けた 各種調査について

川西市では、本市が目指すべき高齢者保健福祉の基本的な方針と具体的に取
り組むべき施策を明らかにするとともに、介護保険給付の円滑な実施を図るた
め、3年を一期とする「川西市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画」を策定
し、高齢者が住み慣れた地域でいつまでも安心して暮らし続けることのできる
まちづくりを計画的に推進しています。

介護保険法第117条第5項では、市町村は、日常生活圏域ごとの被保険者の
心身の状況や置かれている環境等の事情を正確に把握した上で介護保険事業計
画を策定するよう努めるものとされていることから、令和6年度から令和8年
度までの3年間を計画期間とする「川西市高齢者保健福祉計画・第9期介護保
険事業計画」の策定に先立ち、以下の2種類の調査を実施しようとするものです。

1. 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

(1) 目的

要介護状態になる前の高齢者のリスクや社会参加状況を把握し、地域
の抱える課題を特定するとともに、介護予防・日常生活支援総合事業の評
価に活用するため

(2) 調査対象

令和4年12月1日時点で要介護認定を受けていない一般高齢者、介護
予防・日常生活支援総合事業対象者、要支援認定者の中から無作為抽出し
た4,000人

(3) 調査方法

郵送方式

(4) 調査項目及び設問数

調査項目	設問数	(参考) 前回
1. 家族や生活状況	7問	7問
2. 体を動かすこと	10問	10問
3. 食べること	10問	10問
4. 毎日の生活	11問	15問
5. 地域での活動	3問	3問
6. 通いの場への参加 (※)	—	3問
7. 災害に対する備え (※)	—	13問
8. たすけあい	11問	11問
9. 健康	8問	8問
10. 必要な支援	5問	5問

11. 認知症対策	5問	2問
12. 人生会議（ACP）	3問	－
13. 介護保険制度	2問	3問
14. 地域包括支援センター	2問	2問
15. 福祉情報の収集	2問	－
計	79問	79問又は89問

（※）前回調査では、「通いの場への参加（サロン版）」と「災害に対する備え（防災版）」の2種類の調査票を作成し、調査対象者を半数に分割し調査した。

2. 在宅介護実態調査

（1）目的

高齢者等の適切な在宅生活の継続と、家族等介護者の就労継続の実現に向けた介護サービスのあり方の検討するため

（2）調査対象

在宅の要支援・要介護認定者のうち、令和4年12月1日以前に更新申請もしくは区分変更申請による認定調査を受けた人 1,200人

（3）調査方法

郵送方式

（4）調査項目及び設問数

調査項目	設問数	（参考）前回
1. 本人の状況	4問	4問
2. サービス等の利用状況	3問	3問
3. 在宅生活に必要な支援	1問	1問
4. 家族等による介護の状況	1問	1問
5. 介護離職の状況	1問	1問
6. 介護者の状況	3問	3問
7. 介護者が行う介護の内容等	2問	2問
8. 介護者の就労状況等	4問	4問
9. 認知症対策	4問	－
10. 人生会議（ACP）	3問	－
11. 福祉情報の収集	2問	－
計	28問	19問

3. 実施時期

令和5年1月中旬に調査票を発送し、同月末までに回収。3月末までに調査結果を集計予定